

補助事業番号 2022M-131
補助事業名 2022年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充 補助事業
補助事業者名 新潟県

1 補助事業の概要

新潟県内には、古くから機械・金属や繊維産業など地場産業が集積しており、地域に蓄積された独自技術がある。これら特徴ある産業集積や技術の強みを活かしつつ産業の高付加価値化を実現するために、今後の成長が期待される次世代自動車、医療福祉機器、航空機等の分野への参入を目指した技術開発等の取組が行われている。

そのため本事業では、新潟県工業技術総合研究所下越技術支援センターに「EMIテストレシーバ」を、同県央技術支援センターに「顕微赤外分光分析装置」を導入し、依頼試験や機器利用、技術相談、研究開発等の技術支援体制を強化することで、県内企業の成長が見込まれる分野への参入を促進し、製造業の高付加価値化と地域産業の活性化を推進するものである。

2 予想される事業実施効果

①EMIテストレシーバ

この装置を導入することにより、下越技術支援センターの技術支援体制の基盤強化が図られた。次世代高速通信に対応する高周波数帯域での製品評価試験や法律・規格適合試験などが可能となり、より多くの企業がこの装置を活用した技術支援サービスを受けることにより、企業の今後成長が見込まれる分野への参入が促進され、県内製造業の高付加価値化と地域産業の活性化に資することが期待される。

②顕微赤外分光分析装置

この装置を導入することにより、県央技術支援センターにおける技術支援体制の基盤強化が図られた。樹脂材料をはじめとする有機化合物や無機固体材料の化学構造が簡便に解析できるようになり、成長産業分野参入に必要な新材料の物性データが蓄積されるとともに、製品の信頼性向上が大いに期待される。より多くの企業がこの装置を活用した技術支援サービスを受けることにより、今後成長が見込まれる分野への参入が促進され、県内製造業の高付加価値化と地域産業の活性化に資することが期待される。

3 本事業により導入した設備

①EMIテストレーバ

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/iri/jkahojo2022.html#emitest>)

EMIテストレーバは、電界強度計およびスペクトラムアナライザの機能を有し、電気電子機器、無線通信機器、電子回路や電子デバイス等の電氣的性能を測定するための装置である。機器から発生する妨害電磁波（EMI：Electromagnetic interference）の測定を主機能として、回路信号や無線通信信号の性能測定を行うことができる。



設置場所：【新潟県工業技術総合研究所下越技術支援センター】

②顕微赤外分光分析装置

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/iri/jkahojo2022.html#ftir>)

顕微赤外分光分析装置は、試料に赤外光を照射すると得られる吸収スペクトルから、物質の同定や分子構造の推定を行う装置である。付着物や混入物など異物の同定のほか、酸化劣化などの化学構造変化、結晶性や結晶化度、配向などの高次構造の解析もできる。また、赤外顕微鏡を用いることで微小物の測定が可能である。



設置場所：【新潟県工業技術総合研究所県央技術支援センター】

③本事業に係る印刷物等

- ・令和4年度導入機器紹介パンフレット（令和5年4月発行予定）
- ・新潟県工業技術総合研究所ホームページでの紹介

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/iri/jkahojo2022.html>



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 新潟県工業技術総合研究所

(ニイガタケンコウギョウギジュツソウゴウケンキュウシヨ)

住所： 〒950-0915

新潟県新潟市中央区鏡西1-11-1

代表者： 所長 佐藤 健（サトウ タケシ）

担当部署： 企画管理室（キカクカンリシツ）

担当者名： 専門研究員 松本 好勝（マツモト ヨシカツ）

電話番号： 025-247-1301

F A X： 025-244-9171

E-mail： info@iri.pref.niigata.jp

U R L： <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/iri/>